

『信頼される100年企業塾』が開講！



淡路地域商工会振興協議会と洲本商工会議所が合同企画した『信頼される100年企業塾』が、6月19日(木)に淡路市商工会館で始まった。本講座は昨年度に実施した『淡路島繁盛店塾』の続編として、安倍泰夫氏を講師に迎え、『顧客価値創造』と『人材育成』を主軸とし、事業所が向かうべき方向性を半年かけて探っていく。



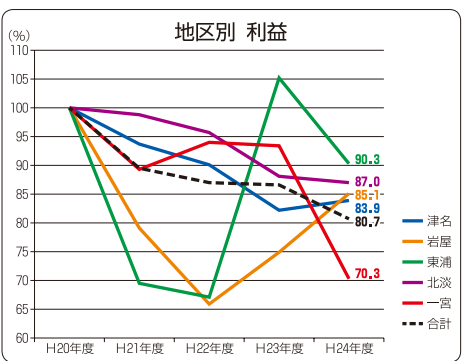
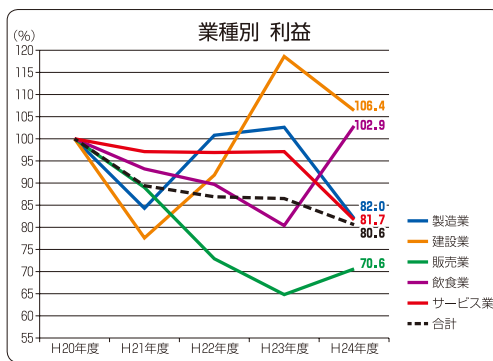
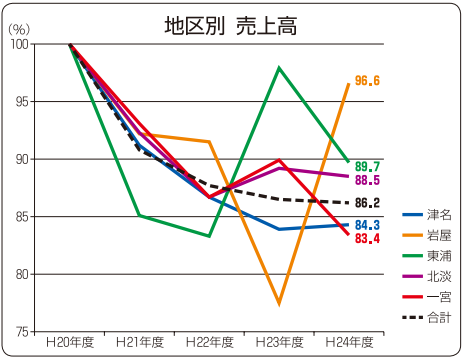
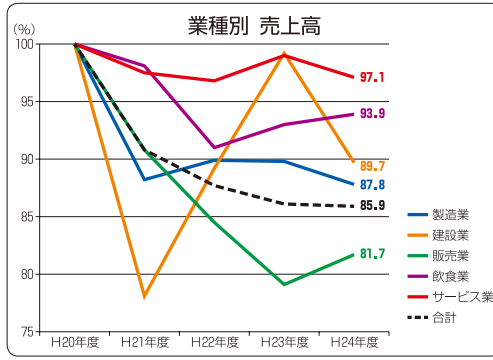
安倍先生は淡路島出身。洲本高等学校を卒業後、京都大学へ進学。ハーゲンダッツジャパン(株)取締役や、ベン&ジェリースジャパン(株)営業部長などを歴任された。

受講生は全島から集まった14事業所の経営者や後継者など。講座終了後もサポートできる体制を作るため、事業所ごとに担当職員がつき、資質向上と信頼関係強化を同時に図る。

第1回目は『信頼される企業の条件』をテーマに自社を振り返る内容で、受講生たちは積極的に意見交換を行い、受講に対するモチベーションの高さをうかがわれた。今後は月1回、全8回の予定で開催される。

平成24年分の青色申告会員景況状況

業種別で売上高と利益が前年より高くなったのは 販売業と飲食業



淡路市商工会では平成25年2月5日より3月15日の間、青色申告会事業所の決算申告に携わってまいりました。前年対比が可能な事業所を対象に、業種別売上高・利益及び地区別売上高・利益の分析を行い、平成20年を基準に5年間の「青申告会景況状況」をグラフにしました。

地区別の売上高では岩屋地区が前年比19・1%と目立って高くなりましたが、利益については東浦・一宮地区は前年比それぞれ14・9%・23・1%低くなりました。売上高及び利益でも2年連続高くなったのは、岩屋地区のみでした。

業種別の売上高と利益で、販売業と飲食業の2業種だけが前年より高くなりましたが、反対にその他の業種(製造業・建設業・サービス業)は前年より低くなったのが今年の特徴です。